



総代 OB で竹藪整備 (相木国男氏竹林にて、岡川経康氏撮影)

今月の一枚

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2020年(令和2年)

4月号

VOL.318

◆◆ 恒例の竹林整備 ◆◆

順慶寺責任役員・相木国男氏所有の竹林は、相木氏が整備を始められてから、立派なタケノコが出るようになった。順慶寺では、その竹林で、毎年、総代 OB 主催タケノコ掘りをさせて頂いている。このごろは、総代 OB が率先して竹林整備の助力をしている。

◇ 世間の激流に流される ◇

今月の釈尊の言葉も、『ダンマパダ』(二十五)より、

「思慮ある人は

励みつとめ、自制し

自らを激流に押し流されない

島(よりどころ)とする」

という言葉からです。

このところ、新型コロナウイルスのことで持ちきりになっています。ドイツのメルケル首相は、このまま治療法が見つからなければ、ドイツの全人口の六十〜七十%が感染する恐れがあると語っていますし、感染者が爆発的に広がったイタリアでは、感染者のうち九%以上の人が亡くなっているとの報道があり、人々の恐怖を煽っています。

そんな中、多く出回っているのが、根拠のないデマ。例えば、「ウイルスが水道水に混入して健康に悪影響が出る」、「コロナウイルスは熱に弱く、二十六〜二十七度のお湯を飲むと殺菌効果がある」というような、よく考



今月のブツダの言葉

思慮ある人は自制し

自らを流されない島とする



若院のテーマカット NO.13



えれば素人でも分かりそうなデマから、「中国が「日本肺炎」と広めようとしている」、「新型コロナウイルスの影響でトイレトペーパーが不足する」というような心理的な動揺を導くデマ、「アメリカがウイルスを中国に持ち込んだ」とする国際問題化しそうなデマまで飛びかっています。

かつて、関東大震災直後の混乱のなかで、①デマから問題がおきたことがあります。「朝鮮人が火をつけ、暴動を起こそうとしている」、「井戸に毒を投げ入れた」などのデマによって、数千人とも言われる韓国人の方が

犠牲となった、痛ましい事件です。人間の集団ヒステリーとも思われる動きは、何時の時代でもあるものだと実感します。

◇月を流さず◇

私たちは、煩惱に左右され、自ら業をなし苦しみを作っています。こうした苦しみを流す流れを、「暴流」と表現して、以下の四つに区分します。

- ① 欲暴流 快楽や睡眠欲など本来持っている物質的な欲によっておこるもの。
 - ② 有暴流 人から好かれたい、有名になりたい、人に勝ちたいなど、精神的な迷いからおこるもの。
 - ③ 見暴流 イデオロギーなど、学習によっておこるもの。
 - ④ 無明暴流 自分は正しいことをしているという思いこみからおこるもの。
- こうした流れは、人間が生きるこ

①【関東大震災のデマ】

大正12年（1923年）の関東大地震によって生じた関東大震災の混乱の中で、内務省が各地の警察署に下達した内容の中で「混乱に乗じた朝鮮人が凶悪犯罪、暴動などを画策しているのに注意すること」という内容が通達された。その際、官憲や民間の自警団などにより多数の朝鮮系日本人および朝鮮人と誤認された人々が殺害された事件。正確な犠牲

と自体から起こる根本的なものとされています。流れに任せて生きれば人生をどれだけ生きても苦から離れることができませぬ。

古い禅語に「水急なれども月を流さず」という言葉があります。

川の流れが急であれば、その中に留まることはできず、やがて流される。世間に生きる私たちも、世間の流れに身を任せば、思いもよらない結末を迎えることもあります。

しかし、川の流れにあつても、水面に映し出された月影は流されることありません。世間に生きる私たちも、仏の智慧を受けるとすれば、それは流されることはありません。流れに身を任せ、暴流に押し流されるのではなく、今、我が身に映し出される仏の智慧を、素直に見出すことが大切なように思います。

②【水急不流月】

者数は不明であるが、論者の立場により、推定犠牲者数に数百名〜約六千名と、非常に幅広い差がある。『緇林宝訓』第二に出る禅語。大正大蔵経には、『緇林警訓』として再編されたものが掲載されている。「緇林」は黒衣の僧侶が集まるところで、宝訓は、参禅弁道の先哲の遺訓の意味。この禅語は、西田幾多郎も好んで用い、自ら書いた墨書が現存する。

人を欲ぶ人
妙好人の世界
 [第92回]
 《ありのままに》
 さぬき しょうまつ
讃岐の庄松
 (16)

《大丈夫じゃ、大丈夫じゃ》

妙好人・庄松。明治四年の春、七十三歳にして、病の床につきました。当時は、介護という言葉もなく、五人組という地域連帯や親類縁者、家族で最期を看取るのが普通でした。そして、もう一つ忘れてはならないのが、念仏の信と共にし、ご縁を慶ぶ同行です。庄松が病の床について、しばらくたつたころ、一人の同行が訪ねてきました。衰えた庄松を見て、同行は、

「どうだ、念仏をよろこんでおるか」と尋ねました。すると、庄松は、「よろこびどころか、苦しゅうておられぬわ」と応えたそうです。素直な気持ちを伝えた庄松でしたが、同行にとっては辛いひと言でした。しかし、また別の同行が見舞い



庄松の墓の前にある石仏（小砂説教所前）

に来たときには、枕元に置いた『御文章』（蓮如上人の『御文』のこと）を指さして、「五劫思惟の御文章を拝読して聞かせてくれ」と言って、同行に読ませると、「ああ、大丈夫じゃ、大丈夫じゃ」と言って慶んだといひます。

五劫思惟の『御文』（五帖目第八通）は、『歎異抄』の後序にも、「弥陀の五劫思惟の願をよくよく案ずれば、ひとへに親鸞一人がためなりけり」とあり、阿弥陀様のお慈悲を深く慶ぶ一節。死に行く庄松には、阿弥陀の慈悲が心からありがたく頂かれたのでしよう。明治四年三月四日、桜の時期に少し早く、庄松は阿弥陀の慈悲につつまれて静かに浄土に帰りました。（庄松終、次回から物種吉兵衛）

子と共に

ケガの功名

三月、新型コロナの影響で、学校が一斉休校となり、何日もの間、家で過ごすことになった高二的娘。

一応、この春から受験生の娘ですが、塾の自習室にも行けず、部屋でゴロゴロの日々。そんな娘についつい、「ほれ！早く起きて！」と小言がでて、お互いにイライラが募ってしまっています。

しかし、このところ、お寺の忙しさを毎日見ているためか、今まで知らんぷりをしていた娘が、自分から台所などの家事を手伝ってくれるようになりました。

「ありがとね」と、わざとそっけなくお礼を言うのですが、実は、娘のちょっとした成長がうれしく、心にしみています。

佳帆子

いよいよ受験生の仲間入り…。大丈夫？



順慶寺における新型コロナウイルス対策について

さる、三月十九日、順慶寺において、臨時責任役員・護寺会四役会（以下臨時会）を開催し、新型コロナウイルス感染拡大と感染防止に対する対策を協議し、順慶寺において、以下のような対策を講ずることとなりましたので報告いたします。

① 四月の蓮師会・総会について

四月二十三・二十四日の蓮師会・護寺会総会は、基本的に中止とし、法要は、寺族と役員のみで勤めることとします。

② 総会の実施について

令和二年度総会は、概ね三週間ごとに実施する、臨時会にて自粛解除の有無を検討し、解除を待って実施します。総会の実施時期についても、臨時会にて決定し、決定次第、会員にすみやかに通知します。

③ 護寺会事業について

令和二年度の護寺会事業は、総会決議を経てスタートするため、総会開催までは、令和元年度を延長することとします。そのため、役員は、総会までは令和元年度役員が延長して任にあたり、予算は、令和元年度の予算で補正を組み、充てることとします。

④ 月例会について

順慶寺にて実施している月例会（むつみ会、お楽しみ会、助音講、真宗講座、慶

楽ゼミ、宗祖聖人御命日）は、臨時会にて自粛解除が決定するまで休会とし、解除決定後、速やかに新年度をスタートさせます。ただし、宗祖聖人御命日のみは、御命日にあたる二十八日に寺族役僧で勤めさせて頂きます。

また、クリーン会の掃除については、自粛中でも毎週木曜日に実施させていただきます。

※自粛期間の法要や参詣について

《法事等の実施について》

各ご家庭における法事等は、特別な事情が無い限り実施してください。

ただし、特別な事情で困難となった場合は、必ず順慶寺までご連絡ください。その際、順慶寺本堂で法事を勤めをさせていただきます。法要の様様をインターネットでライブ配信させていただきます。

《本堂やお墓のお参りについて》

順慶寺本堂、境内墓地へのお参りについては、制限をする予定はありません。

◎本堂でのお参りの際は、必ず添え付けのアルコールにて手を消毒してからお参りください。

3月度護寺会物故者

釋鍛竹

2月29日寂 服部竹二郎(90)

今岡町 服部隆男様の父

誠心院釋和幸

3月16日寂 杉浦利幸(85)

知立市 東畑敏様の妻の父

浄香院釋尼妙代

3月19日寂 相木百代(99)

近崎組 相木一茂様の母

三名の順慶寺護寺会員の方が生前の役割を終えられ、浄土におかえりになられました。合掌



順慶寺本堂のアルコール消毒(岡川経康氏撮影)

新型コロナウイルス対策
本堂に消毒アルコール
順慶寺本堂に、ようやく消毒用アルコールが設置されました。このころ貴重品になったアルコールですが、待ちに待って一歩入りのアルコール消毒液を購入でき、早速本堂に設置しました。

編集部短信

◆コロナ禍にも山ノ端報恩講―三月十二日、新型コロナウイルスの影響が多である中、山ノ端組の報恩講が予定通り実施された。関係者のご努力により、二十名ほどの方が参詣。熱のこもった会となった。

◆竹林整備に二十三名―三月二十日、責任役員である相木国男氏所有の竹林で竹藪整備が行われた。現役総代とOB、二十三名が参加。今年タケノコ掘りをするための準備ができあがった。

編集雑記

新型コロナウイルスの影響は、ついに東京オリンピックを一年延期するところまできました。

近頃開かれたお寺さんの会合では、どのお寺でも集まりを自粛することを決めたという話ばかり。自粛しないとされたお寺さんも、「一度自粛したら再開できなくなる」と危機感があらわでした。

本来ならばお寺が最も力を発揮できる場面。今、寺の存在意義が問われていると感じています。



4月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	水	↓ 新型コロナによる 活動自粛期間	木-1
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		木-2
10	金		
11	土	臨時責役四役会(19:00、順慶寺)	
12	日		
13	月		
14	火		
15	水	十五日講(19:30、岡本英文様)	
16	木		木-3
17	金		
18	土		
19	日		
20	月		
21	火		
22	水		
23	木		木-4
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火	宗祖聖人御命日(寺族と役僧で勤める)	
29	水		昭和の日
30	木		
5/1	金		

4月行事内容 詳細

新型コロナウイルスによる活動自粛期間

3月19日から自粛解除決定まで

新型コロナウイルスが猛威をふるい、世界中に感染が蔓延し、パンデミックの状態に陥っています。

順慶寺においても、3月19日に臨時責役四役会を開催し、順慶寺における対応を協議し、しかるべき時まで順慶寺が主催するすべての行事の自粛(詳細は3頁)を決定しました。今後、概ね三週間ごとに、責役四役会を開催し、諸般の状況を見きわめ、自粛解除の時期を検討する予定です。自粛解除が決定しましたら、役員もしくは事務局より、速やかに各方面に連絡をいたします。

臨時責役四役会

4月11日(土)

午後7時 順慶寺玄関

新型コロナウイルスに対する重要な判断をするために、2月28日、3月19日に続き、三回目の会議を開催します。2月では、護寺役員年番会の中止の決定、3月では、順慶寺の全活動の自粛の決定をしました。

今回は、4月の段階での現況を見て、自粛解除をすべきか判断がなされる予定です。

お知らせ

●蓮師会中止と総会延期に伴う変更や中止について

先掲ように、四月二十三、二十四日に予定されている、蓮師会は中止とし、護寺会総会は延期となりました。それに伴い、護寺役員年番会、総代事前連絡会、教化予算委員会、最高顧問会議は延期、助音練習、花立て、おみぎなどは、すべて中止となります。

●蓮師会中止と総会延期に伴う変更や中止について
らためて日時を決定し、通知をします。また、再度、護寺役員年番会、総代事前連絡会、教化予算委員会、最高顧問会議などの日程を決め、総会前に実施する予定です。
なお、令和元年に誕生されたお子さんの誕生児初参り式は、今のところ、十一月の報恩講に順延する予定です。
また、平成元年度護寺会員物故者追弔会は、改めて実施される総会で行う予定です。

じゅんこのときめき歳時記

イチゴ狩り

みなさん、四月になりますね。いよいよ、新学期になります。今年、コロナの影響で春休みが長かったので、早く学校でみんなと会いたいです。

三月は、コロナの関係で、ほとんど外出ができなかったので、テレビでイチゴ狩りの場面を見て、早速イチゴを買ってきてもらい、お腹いっぱい食べました。近くの畑にあるイチゴは、六月ごろだったと思いますけど、テレビではイチゴ狩りをしていたので、つきり三月でもイチゴがなるものだと

思っていました。

イチゴはバラ科だそうです。このごろは、ハウス栽培が主流で、イチゴ狩りも年中できるそうです。甘くて美味しいイチゴですが、食べ過ぎは禁物です。

ほろほろと

手をこぼれたさいごかな

正岡子規

